

【会情報】

【会員企業ご訪問 : Vol 96】

佐原化学工業 株式会社（八尾支部）

今回は大阪府八尾市にある
佐原化学工業㈱の代表取締役社長
佐原 典嘉 様を訪ねました。

本社住所	大阪府八尾市竹濑 4-142
電話/FAX	06-6706-1380/06-6708-9300
資本金	1,000 万円
創業	1967 年 4 月
成形機	27 台
従業員数	50 名（パート等含む）



佐原 典嘉 社長

創業のきっかけ

昔アルバイトで配送の下請けを行っていたときに、元請会社が不渡りを出してしまい、債権者である自分をかわいそうに思った他の債権者の方々から、元請会社の成形機を引き取らせていただいたことがきっかけで、23 歳で創業することになりました。

そのときの成形機がブロー成形機であったことから、ブロー成形を主に行う企業としてこれまで歩んできました。



外観

会社・製品について

●製造している商品

当社ではブロー成形により、飲料水や調味料、化粧品、洗剤、カー用品などの容器を製造しています。

成形方法としてもダイレクトブロー・インジェクションブロー・延伸ブローなど、様々なブロー成形を取り扱っています。

材料は、ポリエチレン（PE）やポリプロピレン（PP）、ポリカーボネート（PC）、ポリエチレンテレフタレート（PET）などを取扱っています。

ラムネの容器の製造では、プリフォームからビー玉の封入、外装フィルムの貼付まで当社が行っており、受注数は 1 シーズン 300 万～400 万個ほどになります。

また、ソース容器は 2 万個の容器を製造しています。

応接室にはこれまで製造してきた商品を棚に並べており、当社の歴史と技術力を見ていただくことができます。

●会社の強み

当社が製造するプリフォームの種類は 20 種類を超えており、厚さや大きさの異なる様々な容器を製造することができるのが当社の強みです。

また、プリフォームだけを購入されるお客様もおり、まさにプリフォームが当社の財産であるといえます。



これまで製造された商品



プリフォーム

仕事において意識していること

●節電

今年度の電気料金の値上げにより、月 150 万～200 万円ほど電気代が上がったこともあり、電気使用量を確認できるよう、事務所にスマートメーターを取り付けています。

省エネタイプの成形機などの購入についても検討していますが、通常の成形機よりも価格が高いため、コストパフォーマンスを検討したいと考えています。

当社では大型のエアークOMPレッサーが、低圧用の 2 台と高圧用の 5 台があるなど、電気料金がばかにならないため、節電に関して特に意識しています。



大型のエアークOMPレッサー

●輸送コスト

当社は容器を製造していることから、製造後はすぐに配送しなければ製品の保管場所がなくなるため、頻繁に輸送を行わなければなりません。そのため、輸送コストには注意を払っており、最近は関西周辺の仕事を請け負うことで、輸送コストがかからないようにしています。

●不渡りリスクの分散化

過去に取引先から不渡りをもらったことが多く苦労したため、現在は取引先を増やして不渡りによる影響が少なくなるよう、1 社当たりの取引割合を多くとも 10%までに抑えています。

苦労していること

●厳しい検査基準

外国に比べ、日本での製品の検査はとて厳しく、その検査基準をクリアするため苦労しています。日本独自の不必要に厳しすぎる検査基準は、今後受入側にも検討してほしいものです。

●製造するのが難しい製品

延伸ブローでの成形方法ではなかなかきれいな模様や形にならないため、製造するのが難しいです。また、模様をつくるような金型は高価なため、コストの面でも難しい製品になりますが、これらの製品にも積極的に対応することでさらに技術力を向上させるように努めています。



工場内の様子

会社の今後の方針について

当社はプリフォームの金型を多く保有し、様々な形状のブロー成形品に対応できることが強みですから、それを活かし、今後も製造できる製品の多様さを武器に営業を行っていきたいと思っています。

※ 会社を拝見して ※

ブロー成形特有の苦労やリスクはあるものの、他の会社にはない強みをもっていらっしゃることもあり、とてビジョンが明確であると感じました。消費者の嗜好の多様化が進み、容器などにも様々な形が求められる現代において、様々な形状の製品を製造することができることは社会のニーズを捉えていると思いました。

◎ありがとうございました
取材：事務局 平田・松下